

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月15日

事業所名 児童デイサービスあおぞら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	スペースの使い分けをしている	法令基準は確保しているが、個別対応する時は不十分なので、予算上可能になれば、増築やサテライト場所も検討していく。
	2	職員の配置数は適切である		○	必要に応じ、補助スタッフを入れている。	法令基準は確保しているが、個別対応する時は不十分なので、処遇改善を含め常勤者を増やす。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はない、手すりをつける、トイレを車いす対応にするなど建設時に配慮した	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		会議で振り返りを行っているが、欠席者にも徹底させるために報告をより詳細にする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年のアンケートを参考に今年度の行事に反映させた	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度、ホームページで公表予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価機関の選定を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修はじめ事業所訪問研修で専門家に来所してもらう。	参加が一部職員の研修の場合、報告の機会を増やすようにする。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		療育会議を密にしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールの標準化については、検討中であり、来年度中に実施したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当からの提案を会議で共有している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		情報収集を欠かさず工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		特に長期休暇は個別課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		「まずはやってみる」をモットーに工夫している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		話し合いもするが、毎日表示している。	話し合いに参加できなかったスタッフへの確認を徹底する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、個別記録を書き、週一回の支援会議で共有している。	支援会議の欠席者への確認を徹底する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、担当ごとに記録をとって、支援会議に反映している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ずつ、スタッフ全員で話し合い見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドライン総則のファイルを常備して、全スタッフが目を通せるようにしている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		「児・発・管」や「管理者」担当スタッフが参画している。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		担任教師との情報交換ノートを毎日、実施しているクラスもある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		子どもの主治医との研修会を開催している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後、新一年生の利用があれば、情報を得ることとする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしている	○		関係者会議を開催している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		訪問支援を年二回受け、現場も見てもらって研修している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後、地域の子どものイベントに参加する機会をつくる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		会議や行事へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳だけでなく、送迎の際に口頭で伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		スタッフ対象のペアレント・プログラム研修を実施する予定
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面にて説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて専門家に同席してもらうこともある。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		「父母の会」はないが、「映画上映会」「家族交流会」の開催を通して連携の機会をつくっている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当や責任者を決めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「月刊あおぞら」として通信を発行。	
	35	個人情報に十分注意している	○		職員に向け「秘密保持及び個人情報に関する誓約書」を書いてもらっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもにはカード、保護者とは連絡帳の活用など。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		「夏まつり」や「クリスマス会」などの行事。日頃のボランティアの受け入れ。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員研修においてマニュアルを周知している。	保護者への周知を徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月避難訓練を実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会に出席できなかった職員への伝達会を開催している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して		○		対応マニュアルは策定しているが、保護者への説明が不十分なので、実施する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの要望にとどまっているので、検討していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書に都度記入し、毎週の会議にて対応している。		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月15日

事業所名 児童デイサービスあおぞら 保護者等数(児童数) 18 回収数 12 割合 67 %

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	5	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	4			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			5	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	2			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	6	今後、地域の子どものイベントに参加する機会をつくります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	1	1	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	5		1	苦情受付窓口、責任者を設置しており事案発生の折には保護者説明会を開催します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1			
14 個人情報に十分注意しているか	10	1		1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	3		2	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	2		1	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12				
	18 事業所の支援に満足しているか	10	2			

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。